



福島県立梁川高等学校
令和元年10月11日
校長だより
知性 誠実 責任
第 43 号

■ ボランティア活動

夏休み中に伊達市社会福祉協議会が主催した「サマーショートボランティア」に本校生徒が参加しました。参加してみての感想を紹介します。

ボランティアに参加して

1年

私は、霊山児童館でボランティアをしてきました。机や椅子の準備、小さい子の面倒を見ました。結構な力仕事でした。小さい子は何をするか分からないので、見張ったり、気をそらすのが大変でした。いろいろな遊びを考えて楽しませることができました。すべり台で落ちそうになっている子も助けることができました。お母さん方がゆっくりお話できる時間をつくることができ良かったです。スタッフの方たちは、子供の扱いや仕事のスムーズさが上手いと思いました。先のことを考えながら行動するのは、やっぱり大事だと思いました。この経験を普段の生活に生かしたいと思いました。

サマーショートボランティアに参加して

2年

私は、このサマーショートボランティアに参加して、3日間ハッピー愛ランドほばらでボランティア活動をさせていただきました。

1日目は、利用者さんをお風呂に入れる見学をしました。背中を流したり、髪を乾かしたりして、普通じゃできない経験をさせていただきました。

2日目はディサービスで、3日目はあぶくまという所でボランティアをしました。利用者さんとお話したり、食事の準備をしたりして、たくさんの方々と関わって、とても温かく、すごく楽しかったです。

私は、これからもボランティア活動をしたいと思いました。職員の方々にもとても親切に対応していただき感謝の気持ちでいっぱいです。本当に良い経験ができて、嬉しかったです。

サマーショートボランティアに参加して

2年

私がサマーショートボランティアに参加して感じたことは、やりがいのある職業だということです。

この貴重な体験を通して、利用者一人一人のことを考えながらも、表情一つ変えずに、ニコニコしながら利用者の方々とお話をしている職員さんの姿に、強い憧れを抱くことができました。

私はこのような人と接することや、人のお世話をして人の役に立つ職業に就きたいと思っていました。だからこのような貴重な体験を行ったことをきっかけに、将来にも活かしていけたらいいなと思いました。

とても楽しい体験を行うことができました。

サマーショートボランティアに参加して

2年

私は8月12日、13日、14日の3日間、「ハッピー愛ランドほばら」という介護施設でボランティア活動をしました。私はその体験を通して学んだことが2つあります。

1つめは施設の利用者さんに対して笑顔で接することです。なぜなら、お話をするときには笑顔で接したりすることで利用者さんたちも笑顔になり、明るくなるからです。

2つめは施設の利用者さん一人一人と向き合い、気配りをすることです。利用者さんと向き合うことで自分も生き生きとなれると思ったからです。

またボランティア活動などに参加したいと思いました。

サマーボランティアに参加して

3年

私は夏休み中の5日間を使って認定こども園でボランティア活動をしてきました。2歳児から年長さん組まで受け持ちをした中で子どもについてたくさんを知り学んだりすることができました。特に言葉の発達能力や行動の仕方、表現の仕方などそれぞれ年齢差で違ってくるのが分かりました。子どもには個人差があり大人数の集団に入ることが難しい子どもには集団に入れるように上手く先生が対処することが大変だと感じました。

私は今回初めてボランティアに参加をして実際にその場でたくさんのことを学んだり、今まで積み重ねてきた経験を発揮することができました。また、私の将来の夢が保育士なので大学でたくさんのことを学習し、自分の夢を実現させることができるように一生懸命頑張っていきたいと思います。ボランティアに参加して本当に良かったと思いました。

■ 赤い羽根共同募金活動

10月から生徒会役員として活動している本校生徒8名が、10月5日（土）にコープマーケット梁川店で、赤い羽根共同募金活動を行いました。

